

江差、延長戦制す

夏の高校野球予選

函館支部

第97回全国高校野球選手権北海道大会(道高野連など主催)の函館支部予選は4日目の23日、函館市千代台町の函館オーシャンスタジアムでB、Cブロックの2回戦3試合を行った。七飯は奥尻を7-2で下し、函ラサルは市函館に7-0でゴールド勝ち。江差は八雲との今大会初の延長戦を5-4で制した。(鈴木孝典、野村佳南)

七飯は初回、先頭打者の田中が左越え三塁打を放ち、続く小林の内野ゴロの間に先制。九回には3連打に相手の失策も絡み、3点を挙げて突き放した。主戦の紺野は打たせて取る投球で2失点に抑え完投した。奥尻は2点を追う八回に1死二、三塁と好機を作ったが、後続が外野フライに

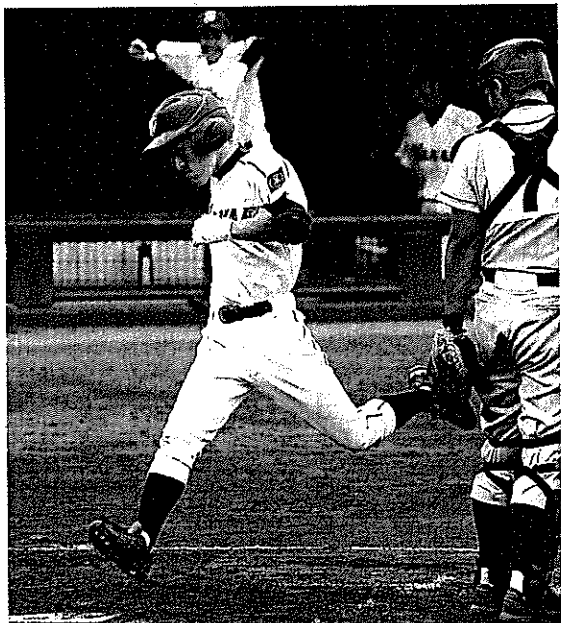
▽Bブロック2回戦
 七飯 110000100003
 奥尻 100000100003
 27

(七)紺野-梅川
 (奥)三浦-高田
 △三塁打 田中、紺野、奥山(七)
 △二塁打 梅川(七)伊藤(奥)

倒れた。

▽Cブロック2回戦
 市函館 00000000
 函ラサル 0031120X070
 (七回ゴールドゲーム)

(市)高木、浜田-沢田
 (ラ)野沢-笹森
 △三塁打 大高、坂下(二)
 △二塁打 中畑(ラ)
 函ラサルは三回2死一塁から、大高、坂下、佐々



函大	野山	工農	23-0	△Aブロック
		北北	25日9:00	
		磯国	22-0	
		西内	27日9:00	
函知	茅	斗	8-1	△Bブロック
		有	25日11:30	
		大	28-0	
		北	3-1	
函函	大	斗	25日14:00	△Cブロック
		森	1-0	
		島	27日11:30	
		高	6-2	
函函	福	大	26日9:00	△Cブロック
		奥	7-2	
		七	7-0	
		市	26日11:30	
函函	八	江	5-4	△Cブロック
		中	27日14:00	
		前	24日10:00	
		水	26日14:00	
函函	大	水	8-1	△Cブロック
		谷	24日12:30	
		大	7-0	
		函	26日11:30	

試合結果は「どうしん電子版/ウェブ」とスマートフォン・携帯電話の有料サイト「道新&道スポ」でお伝えします。道高野連のホームページでも速報しています。

【七飯一奥尻】九回七飯1死二、三塁、走者一掃の適時三塁打を放ち、送球ミスの中に生還する紺野。右は奥尻の捕手高田(岩崎勝撮影)

木の上位打線が3連続適時打を放ち3点を先制。その後も毎回得点を重ねた。先発の野沢はスライダーを中心に12奪三振で無四死球の好投を見せた。

瞬間手応えはぼつちりで『やってやったぞ』と思っただけながらこの日は右翼に入った江差の国仙光一選手



市函館は打線が散発4安打に抑えられ、及ばなかった。

(2年) 写真IIは、決勝点につながった延長十一回の一打を振り返った。

江差 1000000000
 八雲 0000020000
 4 5

六回以降は互いに1点が遠く、息をのむ攻防が続いた。十回に迎えた2死一、三塁のチャンスで、仲間が放ったライナー性の打球が八雲の遊撃手にダイビングキャッチされた時、内心「負けるんじゃないか」と思った。それでも気持ちを切り替え、最後まで攻めを忘れなかったという。

江差は初回、国仙の適時打で1点を先制し、五回にも相手の失策をからめ3点を追加。六回に同点に追い付かれて延長戦にもつれ込んだが、十一回に再び国仙が放った中前打が、失策を誘い勝ち越し点を挙げた。八雲は12安打と安打数では上回ったものの、7失策と守備が乱れた。

▼攻めの気持ち最後まで「監督からの指示で積極的に打ちに行った。打った